

医療事故調査制度「相談窓口」のお知らせ

現在施行されております医療事故調査制度につきましては、沖縄県医師会が医療事故調査等支援団体として平日の通常業務における9時から17時の間、相談業務について対応させて頂いております。

同制度では、医療事故の初期対応から調査報告書の作成およびご遺族への説明までの一連の過程において、医学的専門性と公平性をもって調査を的確に遂行することが求められております。

各医療機関におかれましては、万が一、対象と思われる事案が発生した場合には、適切な対応をお願いすると共に、当支援団体（窓口：沖縄県医師会）にご相談ください。

なお、医療事故調査・支援センターにおいても相談業務を行っております。

（一社）日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

- ◆相談専用ダイヤル 03-3434-1110
- ◆対応日時 24時間 365日対応
- ◆URL <https://www.medsafe.or.jp/>

（一社）沖縄県医師会（沖縄県医療事故調査等支援団体）

- ◆電話（代表） 098-888-0087（庶務課）
- ◆対応日時 平日 午前9時～午後5時

※土曜、日曜、祝日については、県医師会事務局（[TEL090-6858-4169](tel:090-6858-4169)）にて対応させていただきます。

※医療事故調査制度に係るご遺体の保管については、自院で保管頂くか、株式会社サンレー（[TEL098-873-3000](tel:098-873-3000)）にご相談ください。

当該制度に該当するか否かのご判断に対するアドバイスも可能ですのでご相談ください。

「考えさせ」、「感動」させることが必要だと知らされた。テレビの「新春対談」で、あるピアニストが「音楽演奏家は自分の演奏を他人が聴いてくれて音楽になる」と語っていた。だとすれば写真の場合、「記録」という重要な役割を持っているが、「アート」としては他人に見てもらって「写真」になるのではないかとも思う。

医師として「命の尊さ」をアマチュア写真を通して訴えようとしてきたつもりであるが、他者がどう受け止めたか分からない。少なくとも自分にとっては台所の小さな虫も殺さなくな

り、優しく追い払うことができるようになった。しかしプロの精神科医としての診療行為に、「自分の写真活動」が何らかの効果をもたらしているのだろうか、それを知りたい。「仕事」と「趣味」は別だと割り切ることもできようが、同一人の営為であるから関連があるに違いないと思っている。今年で7回目の丑年を迎えたが、「写真技術」を磨くとともに他者の作品にも積極的に目と心に向けながら、蓮の写真を撮り続けて生きたい。



4. 大槌城跡からみた新市街地の風景

大槌城跡の高台から見ると、新築された建物が多く、震災時に見た焼け残った建物が取り壊されていて、見当がつかない。後程訪ねた大槌町役場跡もビルの間によく確認できた（写真2,3）。

海の方を見ると巨大な堤防と水門が街を取り囲んでいる。城跡のすぐ下に焼け残った大きな寺があったが、新しく建て直されていた。震災当時、寺の後継者である息子が、休暇で帰省中に震災に遭い、一度城跡に避難したが、寺に引き返し、再度城跡に戻る際に皆が見ている前で波にのまれたという。

気になっていた大槌町役場跡を訪ねたが、旧役場はすでに撤去され、広い跡地に小さな祠が建てられ、観音菩薩と地蔵が祀られていた。お地蔵さんの顔を見ると、震災で亡くなった多くの幼い子供たちが脳裏に浮かび、やるせない気持ちになった。依頼されていた医師会事務局職員C嬢と沖縄県医師会の分の線香も合わせて供え、亡くなった人達の冥福を祈った（写真4,5）。

大槌小学校はその後大槌町役場として利用され、小学校の紋章はそのまま建物の側壁についていた。



写真2 2011年3月26日撮影
大槌城跡からみた被災地。中央に見える3棟ほどの白いコンクリート製の建物と灰色の建物が被災した町役場



写真4 2011年3月27日撮影
震災当時の大槌町役場、役場前は津波で地面が大きくえぐられ、池のようになっている



写真3 2020年12月17日撮影
写真2と同じ場所から見た大槌町市街地。左側の5階建てビル（災害公営住宅）の前方の空き地が町役場跡、小さな祠が建っている



写真5 2020年12月17日撮影
大槌町役場跡、観音菩薩と地蔵が祀られていた

5. 小槌神社の杉

大槌小学校の近くに、小槌神社があり、震災当時防火林の役目を果たした杉の樹を見に行った。震災の時、火災で木肌が焼け、枝葉が茶色になっていた杉の樹も、海に面した側の樹皮が取れ、木質の樹幹が露出した状態ではあるが、枯れずに残っていた（写真6）。2011年3月の訪問時、寺に隣接した建物で炊き出しをしていた人が話していたのだが、神社の手前の階段まで津波と火災が到達したという。

6. 高台から見た風景

医療支援の時、早朝診療前に登った高台から海を見下ろすと、大槌町市街地に入る右手の方向ではまだ多くの空き地があり、震災時とあまり変わらない風景であった。

コロナ禍で人々が苦しむ中、被災地では新たな10年が始まる。被災地のことを記憶にとどめ、被災地の人と共に歩んでいきたい。

最後に現地で復興に尽力されている方々に感謝するとともに、あらためて震災で亡くなった方々の御冥福を祈ります。



写真6 2020年12月17日撮影
小槌神社の杉の神木、震災時、防火林の役目を果たし、神社を火災から守った



写真7 2011年3月31日撮影
震災当時の小槌神社付近

嘱託産業医活動情報書について

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項目	ご希望条件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
活動希望地区	①北部 ②中部 ③南部 ④那覇市内 ⑤本島全域 ⑥離島可
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
活動可能な曜日・時間 について	①月・火・水・木・金・土・日 ②第() _____ 曜日 ③希望時間帯 (午前 ・ 午後 ・ _____ 時以降 ・ 特になし)
ストレスチェックの 実施者 に なることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 に なることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者 に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
沖縄県医師会 業務1課(宮城)
TEL : 098-888-0087
FAX : 098-888-0089

日本医師会が運営する医師のための私的年金

日本医師会 **医師年金**

[トップページへ](#) [サイトマップへ](#)
[個人情報保護方針](#) [重要事項のお知らせ](#)

[医師年金の特長](#)
[医師年金のしくみ](#)
[医師年金シミュレーション](#)
[よくあるご質問](#)
[手続きガイド](#)
[お問い合わせ・資料請求](#)

ホーム → 医師年金シミュレーション

医師年金シミュレーション

[保険料からシミュレーション](#)
[受給年金からシミュレーション](#)

日医ホームページからの場合

1 保険料からシミュレーション
 ご希望の保険料を入力すると、受給する年金額の概算が試算できます。

2 受給年金からシミュレーション
 ご希望する年金額を入力すると、保険料の概算が試算できます。



3 マイページ登録
 お名前、生年月日、メールアドレスで簡単に登録できます。
[※仮申し込み登録までの流れはこちら](#)

4 マイページへログイン
 シミュレーションの結果を最大5件まで保存できます。
 年金の受取開始年齢の延長や、加算保険料増額の際の試算等、詳細なシミュレーションが可能です。

日本医師会 **医師年金** **スマホ・パソコンで簡単手続き**

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
 (申込みは、満64歳3カ月までをお願いします)

アニメーションで仕組みを確認 

シミュレーションで保険料を試算  

一括払専用加入申込書プリントアウトで申込み
 (保険料のお支払いは後日ご案内します)
 ※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

お問い合わせ先
 日医年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日9時半~17時)

生涯教育／プライマリ・ケア

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ.

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ.

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ.

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間 (週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

平成 29 年 7 月 1 日より

新型コロナウイルス感染が昨年2月14日に沖縄県で初めて確認されてから早一年が過ぎました。この一年間は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、非常に大きな変化があった一年となりました。

緊急事態宣言の発令や外出自粛要請、営業自粛要請を受け、私達の生活にも大きな変化が訪れました。この一年間で3密の回避・ソーシャルディスタンスの確保・テレワークの普及など、「ニューノーマル」が普通になってきたように感じます。医学会においても、未知のウイルスとの戦いが始まり、医療崩壊の危機を感じながらの診療は、非常にストレスに感じています。そんな一年間を振り返ってみると、失ったものも多かったかもしれませんが、withコロナだからこそ得られたものも決して少なくないのではないのでしょうか。

コロナ感染拡大の影響もあり、2・3月合併号となりましたが、浜端宏英先生の「明けない夜はない！コロナ夜からの夜明けを期待したい。」との切なる願いが伝わる力強い写真が表紙を飾っています。

第130回沖縄県医師会医学会総会、51回全国学校保健・学校医大会、令和2年度第2回都道府県医師会長会議、九州医師会連合会第388回常任委員会、九医連委員・九州各県役員合同協議会、第120回九医連総会・医学会の報告が掲載されていますが、全てが、TV会議形式やハイブリッド開催となっており、内容もコロナ感染に関しての報告が目立ちます。

全国的にも珍しい様々な診療科の先生が一堂に会する県医師会主催の学会である沖縄県医師会医学会総会も従来と全く異なる史上初のオンラインを主体とした「ハイブリッド開催」で行なわれました。気軽に会議や学会

等に参加ができるようになり便利に感じる反面、対面でのコミュニケーションやその地の美味なるものに出会う機会がなくなってしまう寂しい感じがします。

中村義清先生、富名腰徹先生、伊礼壬紀夫先生、受賞おめでとうございます。

中村先生の「医師であれば誰でもが対応しなければ行けない地域保健医療活動をコツコツと熟してきただけでありますのに…」その一言に感銘を受けました。

今回の生涯教育はクローン病についてですが、近年増加傾向であり、治療も大きく進歩していることもあり、早めに疑い、専門医に相談することの重要性を学びました。

コロナ禍において、受診控えなども問題になっておりますが、3月11日は世界腎臓デー、3月24日は世界結核デーであり、コロナ禍においてもそれぞれの疾患についての啓発活動を行っていくことは重要と考えます。

随筆のコーナーでは、小椋力先生の「撮った写真に買手がついた。」、凄！の一言です。是非、拝見させていただきたいものですね。

長嶺信夫先生の随筆「東日本大震災から10年～岩手県大槌町を訪ねて～」を読んで、コロナ禍で忘れかけていた東日本大震災での経験を思い出しました。10年前、地元の群馬県で外来診療中に地震が起こり、いつもの揺れとは違うなと感じました。そして、あの津波の映像はいまだに脳裏に焼き付いて離れません。あの時も計画停電などにより、思うように診療ができなかったことを思い出しました。

10年後に「コロナが流行った時は大変だったよね」と笑って言える日が来ることを心待ちにしています。

広報委員 間仁田 守